

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	西都・児湯の子どもたちによる絵画展事業		基本目標	美術館の充実			
担当課(局)・係	社会教育課(美術館)	総務学芸係	記入者	中野恵一	評価者	三嶋俊宏	開始年度 H22 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 西都・児湯管内の小・中学生及び保護者に対して 意図・目的 文化活動の場を積極的に提供していくとともに、子どもたちのがんばりや感性・成果を広く発信していく。							
事業の内容	西都・児湯管内の小・中学生の優秀作品約500点を展示							
22年度決算額	116	千円	23年度予算額	136	千円	事業従事者数	H22 0.24 人 H23 0.24 人	
主な支出項目	審査員謝礼	3	千円	国庫支出金		22年度人件費	1,727 千円	
	学童展記念品	85	千円	県支出金		23年度人件費	1,713 千円	
	運送料	24	千円	地方債		23年度予算額における一般財源の割合(H23)	100.0 %	
	宅配料	4	千円	一般財源	136	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください	
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名				
	補助交付団体			補助金要綱				
	22年度	補助額	#N/A	円	補助の形態	#N/A	23年度補助額	円 終期 H25 年度
		団体の決算額	#N/A	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等			
補助の割合		#N/A	%					
	繰越額	#N/A	円					

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 観覧者数	観覧者数の増加で、より多くの人に芸術に親しんでもらう。
	2 応募校数	対象校全ての応募を募り、美術館の周知・利用を促す。
活動指標	3 応募作品数	適切な作品数で、児童・生徒の作品発表の場を提供し、作業時間の削減を図る。
	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 広報活動数	県内の美術館や各報道機関へチラシ・ポスター等の配布
	2 参加依頼数	対象校全ての応募や来館の依頼
	3 取材依頼数	新聞記事やテレビ等での報道依頼

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度
成果指標	観覧者数	目標値	1,000	1,000	1,000
		実績値	772	653	
		達成率	77.2%	65.3%	
	応募校数	目標値	43	43	43
		実績値	42	42	
		達成率	97.7%	97.7%	
	応募作品数	目標値	528	500	500
		実績値	510	426	
		達成率	96.6%	85.2%	
活動指標	広報活動数	目標値	2	2	2
		実績値	2	2	
		達成率	100.0%	100.0%	
	参加依頼数	目標値	3	3	3
		実績値	3	3	
		達成率	100.0%	100.0%	
	取材依頼数	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	

事務事業名	西都・児湯の子どもたちによる絵画展事業	担当課(局)	社会教育課(美術館)
-------	---------------------	--------	------------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
妥(必 当 要 性 性)	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	0	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有 効 性	◎目標に対して成果は得られているか	1	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効 率 性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協 働 性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	1	-
合計(最高18点)		12	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公 益 平 性 性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
	◎町民の理解が得られる事業であるか		-
合計(最高4点)		0	-
そ の 他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	美術館に対する心理的な敷居の高さを軽減してくれる事業であり、親と子そして祖父母と、3世代が一緒に楽しく鑑賞できる貴重な事業である。高鍋町だけではなく児湯地区全体の学校関係者に、より一層の出品と観覧依頼と授業の一環としてクラス単位での鑑賞をお願いしていきたい。他校の児童の作品を見る事で、子供達の刺激になると考える。受賞した親子は何度も訪れるので、賞の拡充も検討していく必要があると考える。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小
						○
			コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎企画展が美術館運営の基礎となるので、少ない費用でより高い効果を上げてもらいたい。 ◎美術館の入館者増加を図るには、どのような企画で、経費はどう工面するのかなど毎年検討するのではなく、長期的計画を持って取り組むべきと考える。 ◎昨年もだったが参加応募数を増加するためにも報償の拡充が必要である。	
	コスト	拡充		
	委員評価	-		
	外部評価	-		